



平成 30 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 ム ラ キ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 永 井 清 美  
( J A S D A Q コード 7 4 7 7 )  
問 合 せ 先 経 理 部 長 加 瀬 光 二  
電 話 番 号 0 4 2 - 3 5 7 - 5 6 1 0

## (開示事項の経過) 構造改革の進捗状況に関するお知らせ

当社は、厳しい収益状況から脱却し収益基盤を強化するとともに、市場環境の変化に対応した新しい販売体制・顧客サービスを提供するために、平成 29 年 3 月 16 日に「構造改革の実施に関するお知らせ」を公表いたしました。今般その進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 子会社の事業の一部譲渡および解散について

当社の連結子会社であります株式会社ムラキ・エージェンシーの事業継続について、当社内にプロジェクトチームを設け、8 ヶ月間さまざまな施策（販売促進活動、営業活動の強化等）を行い、その結果を精査した結果、新規顧客を獲得にもいたりしましたが、事業の継続性および将来性の厳しさから事業の一部譲渡および解散を判断したものであります。

詳細につきましては、平成 29 年 12 月 20 日に公表いたしました「連結子会社の事業の一部譲渡並びに解散及び清算に関するお知らせ」をご参照ください。

今後も、他の子会社及び当社事業についても、精査をつづけ、将来性があると判断する事業を選択し、限られた経営資源を集中してまいります。

#### 2. カーケア関連販売事業の戦略的営業体制について

エリア別の市場分析によるドミナント戦略により、既存顧客との信頼関係構築の為、定期巡回を含む基本営業の徹底を行っております。この活動により、カーケア関連販売事業の地盤を固め、来年度より、新規顧客および新領域への販売網の拡大を行ってまいります。

(進捗状況および結果)

営業体制の人員の異動を含めた営業所および出張所の統合や廃止および移転を行い、コンパクトで営業活動に集中できる営業体制となった結果、当第 3 四半期累計期間における総資本経常利益率（ROA）は 2.5%（前年同期 -1.1%）、自己資本等基準利益率（ROE）は 2.9%（前年同期 -3.7%）となりました。

#### 3. 今後の見通し

上記のとおり、現在、当社の構造改革は着実に進捗しており、今後さらなる改革を実施していく所存であります。本件に伴う業績の影響につきましては、本日公表いたしました「平成 30 年 3 月期第 3 四半期決算短信」の平成 30 年 3 月期業績予想にも寄与しております。

以 上